

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2001-329132(P2001-329132A)

【公開日】平成13年11月27日(2001.11.27)

【出願番号】特願2000-148703(P2000-148703)

【国際特許分類】

C 0 8 L 33/04 (2006.01)

C 0 8 J 5/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/09 (2006.01)

C 0 8 K 5/42 (2006.01)

C 0 8 K 5/51 (2006.01)

C 0 8 L 25/02 (2006.01)

C 0 8 L 33/12 (2006.01)

C 0 8 L 33/18 (2006.01)

C 0 8 L 51/04 (2006.01)

C 0 8 L 55/02 (2006.01)

C 0 8 L 77/12 (2006.01)

B 6 5 D 1/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 33/04

C 0 8 J 5/00 C E R

C 0 8 K 5/09

C 0 8 K 5/42

C 0 8 K 5/51

C 0 8 L 25/02

C 0 8 L 33/12

C 0 8 L 33/18

C 0 8 L 51/04

C 0 8 L 55/02

C 0 8 L 77/12

B 6 5 D 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月18日(2007.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (A)成分が、(a-1)アクリル系樹脂30～70重量部、(a-2)ゴム質重合体に、シアン化ビニルと芳香族ビニルをグラフトしたグラフト共重合体30～70重量部、および(a-3)シアン化ビニルと芳香族ビニルとの共重合体0～30重量部、を混合してなるゴム質重合体を5～40重量部含む透明マトリックス樹脂70～95重量部と、(B)成分が、屈折率1.51～1.54、23℃の飽和吸水率が100重量%以下、かつ表面抵抗率が $1 \times 10^{11} \Omega$ 以下の熱可塑性エラストマー5～30重量部(但し、(A)成分のゴム質重合体を含む透明マトリックス樹脂と(B)成分の熱可塑性エラストマーとの屈折率の差が0.02以下)、および(C)成分が、有機電解質および

無機電解質の中から選ばれる１種以上０～１０重量部からなる熱可塑性樹脂組成物。

【請求項２】 （Ｄ）成分が、（ｄ－１）メタクリル酸メチルと芳香族ビニルとの共重合体０～７０重量部、（ｄ－２）ゴム質重合体に、メタクリル酸メチルと芳香族ビニルをグラフトしたグラフト共重合体３０～１００重量部、であるゴム質重合体を５～４０重量部含む透明なマトリックス樹脂７０～９５重量部と、（Ｂ）成分が、屈折率１．５１～１．５４、２３℃の飽和吸水率が１００重量％以下、かつ表面抵抗率が $1 \times 10^{11} \Omega$ 以下の熱可塑性エラストマー５～３０重量部（但し、（Ａ）成分のゴム質重合体を含む透明マトリックス樹脂と（Ｂ）成分の熱可塑性エラストマーとの屈折率の差が０．０２以下）、および（Ｃ）成分が、有機電解質および無機電解質の中から選ばれる１種以上０～１０重量部からなる熱可塑性樹脂組成物。

【請求項３】 （Ａ）成分、（Ｄ）成分が、さらに（ａ－４）酸変性あるいはエポキシ変性した変性樹脂０～３０重量部、を混合してなるゴム質重合体を５～４０重量部含む透明マトリックス樹脂７０～９５重量部、であることを特徴とする請求項１または２に記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項４】 請求項１～３項記載の熱可塑性樹脂組成物を用いて成形された部材を使用することを特徴とする筐体類。

【請求項５】 請求項１～３項記載の熱可塑性樹脂組成物を用いて成形された部材を使用することを特徴とするカバー、ケース類。